

特集1 2014年4月開設

国際教養学部

世界と会話できる力を、世界と交渉する力に。世界就職。

特集2

「グローバル人材」が育つキャンパス

語学力+人間力でグローバル人材に!活躍の舞台は世界!

「私」の学生時代

財務プロフェッショナル 堀切 英明 さん

p14

左: マリア・グアハルド 国際教養学部長(予定)
右: 交換留学生 ゲイブリエル・アレクサンダー マディガンさん
【マサチューセッツ大学ボストン校】
(紹介記事はp23)

世界と会話できる力を、世界と交渉する力に。

世界就職。The faculty of international liberal arts

学部長には、マリア・グアハルド教授が就任予定。創価大学初の外国人女性の学部長が誕生します。国際教養学部について、また新学部設立にあたっての抱負を伺いました。



国際教養学部長(予定)

マリア グアハルド

Maria Guajardo 教授

臨床心理学者
幼児教育専門家
ハーバード大学卒業
デンバー大学臨床心理学修士課程修了
デンバー大学臨床心理学博士課程修了 Ph.D.取得
デンバー大学理事、アメリカ創価大学理事を経て
2003年、デンバー市の児童教育局長に就任
2013年7月より創価大学勤務

AReader の使い方

- 1 アプリケーション「AReader」(無料ソフト)をダウンロードします。*通信費は別途発生いたします。
[iPhone、iPad、iPod touchをご利用の方]「AppStore」で「AReader」を検索しダウンロードします。
[Androidをご利用の方]「Google Play」で「AReader」を検索してダウンロードします。
- 2 アプリケーションを起動します。
ダウンロードが完了したら、アイコンをタップしてアプリケーションを起動します。
- 3 カメラをARマーカにかざします。
カメラをARマーカにかざすと、そのマーカに応じたさまざまなコンテンツがダウンロードされ、コンテンツをご覧いただけます。

※対応端末は、Android端末(Android2.3以降、但しAndroid3.Xシリーズを除く)、iPhone3GS/4/4S/5、iPod touch(第4世代以降)、iPad2、新しいiPadです。また、カメラが内蔵していない端末ではご利用いただけません。 ※本アプリケーションの利用にはインターネットに接続できる環境が必要です。 ※一部のAndroid端末では本アプリケーションが正常に起動しないことがあります。 ※一部のAndroid端末では、コンテンツの一部が正常に起動しないことがあります。 ※「iPod touch」および「App Store」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。 ※「Android」、「Google Play」は、Google Inc. の商標または登録商標です。

教育分野におけるこれまでの経験をお聞かせ下さい

全ての人々、特に社会的に弱い立場にいる家族や子どもたちに対し、教育の機会を創出していくことに、この人生を捧げてきました。児童心理学者としての訓練を受け、教育や格差是正に長く携わってきたことが、地域学区、市・州政府また高等教育における私のキャリア形成に繋がっています。実際、数百人にわたる幼稚園教諭への職業訓練の実施、スラム地区で暮らす子どもの高校卒業を支援するプログラムの策定、大学の教育学部に対する研修を提供するなど、数多くの責任ある仕事を担わせていただきました。最近では、デンバー市の児童教育事務室を監督し、低所得層の子どもたちやその家族を直接巻き込んだ、地域と国の連携政策を構想することができました。また、二つの大学において理事としての任も務めてきましたので、大学のガバナンスにおける数多くの経験も積むことができました。

国際教養学部の学生に何を期待しますか。また、学生に期待できる成果とは何でしょうか

国際教養学部では地域、国内、国家間の問題に対し、グローバルな視点を持って接することのできる優秀な人材の輩出を目指しています。本学部に入學した学生は、グローバル社会において、彼ら自身が活躍する場所を見出すために努力する一人ひとりであり、異文化交流における舵取りや、学際的展望に立つことに勇んで挑戦していく学生であると確信します。また、実践的な英語力を修得することは国際的な視野を広げ、国家、人種、国際的な問題への懸け橋となる、またとない機会です。卒業時には、実践的英語力、分析力、コミュニケーション力を身につけた学生を輩出します。特に選択授業として提供している海外でのフィールドワークは、本学部生が新しい知識やツールを習得し、それを実践的に応用していく一つの例になります。

新学部設立に当たり、感じていることやご自身の決意をお聞かせ下さい。また、学部長としてどのような役割を果たしていきたいとお考えでしょうか

いよいよ2014年度から国際教養学部の授業が開始されることに、大いなる期待と希望を抱いております。私は21世紀にこの創価大学国際教養学部で力を培ったリーダーが世界に羽ばたいていくことを強く確信しています。こうした未来のグローバルリーダーを育成するため、学生の成長のために全力を尽くすトップレベルの教授陣を揃えました。これから新入生と共に歩む最初の4年間は、本学部の成長・拡大期に当たります。私自身、国際教養学部の学生に潜む、潜在的な能力を最大限引き出せるように努力するとともに、学生たちが世界を舞台にキャリアパスを臨めるよう準備をして参ります。

国際教養学部の特色

1. 留学1年間(1年後期~)を必修化。帰国後、英語による講義を展開。
2. 12言語を駆使する教授陣による国際性豊かな学習環境。
3. 国際性×学際性×実践力の3つの力を養成。

語学力+「人間力」！ 創価の「グローバル人材」

Global Citizens of SOKA=
Wisdom + Courage + Compassion

Interview

交換留学

タイで実感！
真のグローバル・スタンダード

経済学部 4年 野村 明子さん

一 タイに留学されたきっかけは？

入学前から新興国支援に関心があり、日本のグローバル企業が多く進出しているアジアの現地を実際に見てみたいと思ったことと、1年次に履修した「ワールドビジネスフォーラム」で、世界を舞台に活躍されている先輩方の話を伺う中で、どうしても留学したいと思い、タイへの交換留学を決めました。



野村 明子さん(写真中央)

一 留学先で取り組んだことは？

タマサート大学では、経済学や、タイの歴史や社会を学ぶコースを履修しました。留学当初は、他の学生のレベ

ルに圧倒されました。アメリカの名門大学院からの留学生や現地の学生との英語力はもちろん、ディスカッションの力などに大きな差を感じたからです。しかし、「今、ここで結果を出せずして、将来、海外で通用する訳がない」と喰らいつき、グループワークに取組み、論文も書き上げました。課題の量も日本とは比較にならないほどで、本当にハードでしたが、各国の最優秀の学生がいる中で、いくつかの授業では、最高の「A」評価を得ることができました。また、タイ語の語学学校にも通い、現地企業のインターンシップや、国境付近の少数民族を訪問するなど、現地でしかできない体験をしてきました。

一 現地での生活で得たものは？

「真のグローバル・スタンダードとは

何か」ということを考えさせられました。実は、留学中にバンコクは大洪水に襲われたのですが、日系企業の方々の姿を通し、日本と大きく異なる環境において、リーダーはいかに行動すべきかといった対応力を学ぶこともできました。また、どんな相手であれ、積極的に自分の意思を堂々と伝えていく力も養えたと思います。

一 これからのビジョンを教えてください。

卒業後は、留学先での経験を生かし、日系企業の海外進出支援を行う企業に進む予定です。現地の雇用促進やインフラ整備など、経済の活性化を通し、国際貢献していきたいと考えています。創立者の「世界に羽ばたけ」とのご期待にお応えできるよう、これからも学び続けます。

Q&A Reader

タイ留学時の
インタビュー

使用方法是P02をご参照ください。

POINT

タイ
タマサート大学

タイで最も権威のある名門国立大学の1つ。1985年に創価大学と交流協定を締結。

本学では、ワールドランゲージセンター(WLC)を中心に実践的な語学教育を展開。

さらに、世界46ヵ国・141大学の協定校とのネットワークを生かし、多彩な海外修学体験の機会を提供するなど、開学以来、一貫して学生の国際感覚を磨く学習環境を築いています。

「活躍の舞台は世界！」
創大で磨いた知性と心

法学部 4年 吉川 秀之さん

一 創大に入学後、英語に徹して取り組んだと伺いました。そのきっかけは？

もともと英語は苦手でした。しかし、入学式で、創立者が語学の重要性を改めて訴えられたことと、1年次に履修した「ワールドビジネスフォーラム」で、先輩方のお話に刺激を受け、「自分も、このキャンパスで世界に通用する力をつけたい」と決意しました。

一 語学にはどのように取り組みましたか？

まずは「TOEICのスコアを上げたい。やるからには上級者クラスを目指そう」と決め、WLCの「英語学習相談室」で自身の学習スタイルを研究、猛勉強を開始しました。行き詰まった時には、ワールド会(留学経験者の団体)の先輩方に話を聞きにいき、再

奮起しました。努力の甲斐あり、1年後期には上級者クラスに入れました。しかしそこで満足せず、「自分はこのキャンパスに留学に来たんだ」と言い聞かせ、約2年間、ほぼ毎日WLCに通い続けました。留学生の多い創大のキャンパスは、英語漬けにできる最高の環境でした。1年次、300点台から出発したTOEICは、3年次には730点を超えました。

一 凄まじい努力ですね。他に取り組んだことは？

法学部主催の「Peace & Human Rightsプログラム」にも参加しました。香港での研修や、平和や国際政治について英語で学ぶ授業は、レベルが高く、ついていくのに必死でしたが、とても刺激的で力をつけました。3年後期からは1年間、アメリカに留

学しました。留学前に基礎を固めて行ったことで、現地ではMBAの基礎を学んだり、旅行会社でインターンシップを経験し、イベントの責任者を任されるなど、語学だけでなく、自分のやりたいことに挑戦することができました。帰国後、TOEICは900点まで伸びていました。

一 これからの抱負を聞かせてください。

現在、世界的に活躍するIT企業から内定を頂いています。専門性を身につけ、創大キャンパスで培った「負けじ魂」と、「一歩ずつでも進んでいけば、必ず目標に到達できる」との信念で自分を磨き続け、海外のどこへ行っても、「なくてはならない人」になっていきます。



「多くの方に支えられて今の自分があります」と語る吉川さん(写真中央)は現在、WLCやワールド会のスタッフとしても活躍。

POINT

ワールドビジネス
フォーラム

世界を舞台に活躍するOB・OGをゲストスピーカーに招き、「海外で働く」力をつけるために、大学で何をすべきかを学ぶ本学のキャリア教育科目。

2013年4月より 看護学部がスタートしました。

看護学部棟の「ココがイイ!」という、
魅力ある施設を看護学部1期生に紹介してもらいます!

看護学部 指 針

- 一、生命の尊厳を探究する生涯学びの看護
- 一、生きる力を引き出す励ましの心光る看護
- 一、共に勝利の人生を開く智慧と慈悲の看護

看護学部棟には、 最新の設備が整っています!

最新の設備を備えた実習室を始め、看護技術向上のためのスキルス
ラボ、講義室を完備。看護技術を磨くための演習が行える設備や、
採血や聴診などの練習を行うためのシミュレーションを配置し、日
常的にスキルを磨くことができます。



ラウンジ



学食に行けない日は、ラウンジで販売してい
るお弁当販売を利用します。また、先生たち
や友人とも仲を深めることのできる癒しの空
間です。

白樺図書館



放課後によく利用します。窓側の席からは中
央教育棟 グローバル・スクエアも眺めることが
でき気分転換になります。一つひとつの机の
スペースも広く勉強がはかどります!

実習室



授業中だけでなく空きコマに自主練習もしま
す。先生にお願いすると自主練習に付き添っ
てくださり、最初はまったく上手くできなかった
ベッドメイキングも上達してきました!

テラス



眺めがとても良く、暖かい日にはテラスで昼
食をとることもあります。お花が植えられてい
てとても可愛く癒されます。来年の春には、
テラスで看護学部のお花見をしたいな!

SOKA TOPICS

本年も

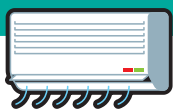
節電対策を実施します!

昨年度に実施した、節電対策を基に、本年も教職学一体となった取り組みを行っていきます。期間は7月1日(月)～9月30日(月)の平日(8月13日(火)～15日(木)を除く)9時～20時において、節電に取り組めます。

1 全体的な取組み

空調

- ▶ 室温28℃の徹底
- ▶ フールビズの励行



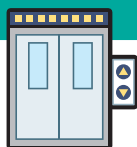
照明

- ▶ 事務室・研究室・廊下等共用部分の節電徹底
- ▶ 事務室・外灯・廊下等共用部分の照明の間引き
- ▶ 授業・使用許可以外の教室の消灯徹底(自習室の利用徹底)



エレベータ

- ▶ 近隣階への階段利用
→「2アップ3ダウン」の推進



パソコン

- ▶ PCを省電力設定にする
- ▶ PCディスプレイ照度を50%以下に設定する



2 教職員学生の取組み

教員

- ▶ 授業終了時に、教室の消灯を行う
- ▶ 授業人数によって、節電を心がける



職員

- ▶ 各棟の不要な電気は消灯していく(7/1～5の間、職員による節電見回りの実施)
- ▶ 節電のお願いアナウンス放送(7/1～5の間)
- ▶ 事務室の昼の消灯、蛍光灯の間引き



学生

- ▶ 自治会棟、クラブハウス棟の節電



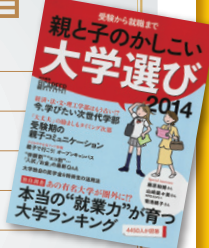
日経HR調査の「就業力大学ランキング」で

創価大学が総合38位

日経HRが実施した学生アンケート調査「就業力が育つ大学ランキング」で、創価大学が総合38位と発表されました。(参考として、早稲田大学が37位、同志社大学が39位)これは2013年6月17日付の「日経新聞」朝刊の大学面、日経HRムック本「親と子のかしこい大学選び2014」で紹介されました。この調査は、昨年(2012年)11月から本年(2013年)4月まで、「日経就職ナビ」に登録した学生全員に対して「学業」「課外活動」「交友関係」「就業観」の4分野についてアンケート調査を実施し、有効回答を大学ごとに並べ順位をつけたものです。なお、日経HRムック本「親と子のかしこい大学選び2014」によると、右記の質問項目で本学が10位以内に入っています。

「就業力が育つ大学ランキング」で 10位以内に入った質問項目

- ・「学業」分野の7項目合計で9位
- ・「入学時に望んでいた勉強ができていますか」8位(87%)
- ・「授業は面白い」5位(93%)
- ・「留学経験はあるか」6位(27%)
- ・「学生生活は楽しい」1位(5大学が100%で同率)
- ・「学内に2人以上の友人はいるか」1位(39大学が100%で同率)
- ・「先輩・後輩との付き合いはあるか」1位(7大学が100%で同率)
- ・「大学での学業や経験は仕事に役立つと思うか」1位(3大学が100%で同率)
- ・「大学でのキャリアに関する科目は就職活動に役立っているか」8位(67%)



創立50周年へ 学生第一の教育環境 が充実

◆◆中央教育棟 グローバル・スクエア◆◆



新たな創価大学のシンボル待望の中央教育棟 グローバル・スクエアがいよいよ完成！

創価大学創立40周年の記念事業として建設が進められてきた、地下3階、地上12階の中央教育棟 グローバル・スクエア。正面玄関を入ると、3階まで吹き抜けのエントランスホールが広がり、1階は教務部やキャリアセンター等の各事務室が併設。2階は、自習スペースや英会話ラウンジ、パソコン教室など、最先端の教育環境を取り入れた学習支援スペースとなります。3階から6階は教室中心のフロア、7階から12階は研究室・ゼミ室が配置されます。また、1,000名収容の大ホールにコンビニエンスストア、4階にはカフェラウンジ、屋上には太陽光発電パネルや、緑化のための庭園が設置されます。本年9月にオープン予定です。

※9月オープンにあたり、全学協議会で検討し、仮称・新総合教育棟は、「中央教育棟 "GLOBAL SQUARE"」に決まりました。

◆◆学生センター◆◆



快適な環境で課外活動をサポート！
学生センターがついに誕生！

学生センターは、第1グラウンドの西側に建設され、現在の学生自治会棟、第1、第2クラブハウスに替わる地上5階建の施設です。1階と2階には、学友会本部、学生自治会事務局をはじめ、各種学生組織の事務室、会議室、多目的ホールを設置。3階から5階には、クラブ団体の部室、大小の音楽練習室も備えています。第1グラウンドも学生センターの建設に合わせて整備工事が行われ、主にアメリカンフットボール、ラクロス、ソフトボール用のグラウンドとして利用されます。グラウンドの周辺にはカラーアスファルトのランニングコースも新設。学生センターは、本年の9月にオープン予定です。

短大

◆◆白鳥ラウンジ完成！◆◆



このたび、短大内に学生が自由に学習・懇談や休憩ができるラウンジが完成しました。

このラウンジは、設置にご尽力いただいた本学同窓会の名称「白鳥会」にちなみ、「白鳥ラウンジ」と命名されました。白鳥ラウンジでは、学生が自習を行ったり、英語のディスカッションを行ったり、学生生活サポートのセミナーを行ったりと、多岐にわたり活用されています。学生のための施設がますます充実し、学生に喜びが広がっています。

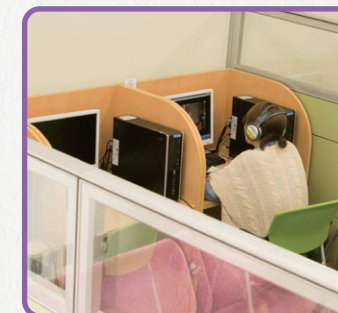
短大

◆◆その他リニューアル◆◆



和室

作法室として活用されていた和室がリニューアルし、い草の香りが漂う広々とした空間です。



AV実習室

新たにグループ視聴コーナーが設置され、グループ学習ができます。



図書館

ゆったりくつろげる大型ソファが設置され、マガジンコーナー、新聞コーナーが充実しています。

質の向上を目指し

「内部質保証システム」の構築を!!

すべての大学は7年に一度、文部科学大臣の認証する機関より評価を受けることが義務付けられています(認証評価)。本学も明年、(公財)大学基準協会による2回目の評価を受けることを契機に、質向上に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。



全学自己点検・
評価委員会副委員長 **田中 亮平** 副学長補

今回の評価の最大のポイントは「内部質保証システム」の確立とその着実な実施にあるといわれますが、本学もこの基軸を中心に、創立50周年とその先の未来の発展につながる自己点検・評価活動にしていきたいと思います。その意義をこめて、このたび以下のような「創価大学内部質保証ポリシー」を掲げる運びとなりました。

創価大学内部質保証ポリシー

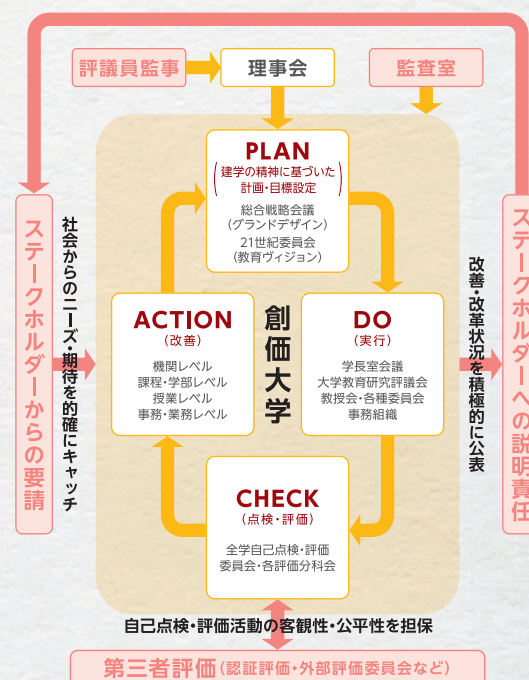
創価大学(以下、本学という)の目的は、創立者池田大作先生が示された建学の精神を基盤として、あらゆる分野で新たな価値を創造していく「創造的人間」を育成することである。この目的を達成するために、教育、研究および社会貢献活動が適切であることを自らの責任で説明・証明する必要がある。本学は、「創価大学学則」第1条2、「創価大学大学院

学則」第2条および「創価大学通信教育学則」第1条2において、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表することを定めている。また、1993(平成5)年には「創価大学自己点検・評価実施規程」を定め、委員会等実施組織体制を整備し、着実に自己点検・評価活動を進めてきた。これまでの活動を踏まえ、本学が建学の精神を

堅持し、永続的に発展するためには、自己点検・評価活動が円滑に改善・改革につながるよう、恒常的・継続的なプロセス、いわゆる内部質保証システムを構築することが重要であるとする。については、本学における内部質保証に関する基本姿勢として以下のポリシーを掲げる。

全学自己点検・評価委員会

創価大学内部質保証システムイメージ図



1. 本学は、認証評価を含む自己点検・評価活動をととし、継続的な諸事業の改善・改革を行い、もって社会に対する質保証の責任を果たす。

2. 本学の自己点検・評価活動は、大学全体、学部・研究科等諸組織で行われるすべての教育・研究活動及び関連する業務をその対象とする。

3. あらゆる活動について、その方針、到達目標を明確にするよう努める。また、方針、到達目標の妥当性を定期的に検証する。

4. 自己点検・評価活動においては、エビデンスを重視する。また、分析のための評価指標の開発に努める。

5. 自己点検・評価活動の客観性、公平性を担保するため、外部評価を積極的に取り入れる。

6. 内部質保証の取り組みを、ステークホルダーに積極的に公表する

2013年度 教育ヴィジョン説明会

5月1日(水)、本部棟M401教室にて、本学教職員を対象とした「2013年度教育ヴィジョン説明会」が開催されました。はじめに馬場善久学長は、グランドデザイン策定の経緯、グランドデザインのポイント、第1ステージ(2009年~2012年)の成果および第2ステージ(2013年~2016年)の展望などについて説明しました。第1ステージの成果として、「教育戦略」に基づいて設置された「学士課程教育機構」および本学初の学部横断型プログラム「Global Citizenship Program(GCP)」により、語学力をはじめとする学士課程教育の質的向上が図られたことなどが紹介されました。次に第2ステージの展望として、グランドデザインの戦略・計画

を実現するために、PDCAサイクルを適切に運用しグランドデザインの可視化を推進すること、また、新学部設置、学部改組などを着実に進め、よりいっそうグローバル人材育成に注力し、具体的な数値目標を学部ごとに掲げて取り組む構想などを明らかにしました。つづいて、全学自己点検・評価委員会副委員長の田中亮平副学長補から、2014年に控える認証評価申請を踏まえ、創価大学における内部質保証システムに関する説明がありました。6点にわたる内部質保証ポリシーを紹介した後、認証評価に対する心構えについて「『監査』の発想から脱却し、認証評価を全学的見直しと、将来の発展への改革・改善の機会にする」「何事も、何を



どう達成したいのかというポリシー・目的意識を明確にする」「ひとつひとつの活動にエビデンスを残していく」ことなどを訴えました。

2013年度 第1回学士課程教育機構FDセミナー



4月26日(金)、文系校舎A棟A424教室にて、公益財団法人大学基準協会鈴木 典比古 専務理事を講師にお迎えし、2013年度第1回学士課程教育機構FDセミナーを開催致しました。現在、日本の大学教育が抱えている課題として、学生の主体的学修、体系化されている教育課程、全学的教育マネジメントとガバナンスの確立の3つを挙げ、そのための学士課程教育の質的転換を実現するために、シラバスの改善、GPA制度とナンバリング制度拡充の重要性と具体的な取り組みをご講演頂きました。約60名の参加者から

は、「今後何を目標として教育支援をしていけば良いのか、指標となる知識を得ることができた」、「ナンバリングの目的、シラバスの目的が明確になった。学生の主体性を引き出す取り組みをさらに考えていきたい」、「全ての学生が無限の可能性を持っており、それを引き出す教育が重要であることを再認識した」等の声が多数寄せられました。

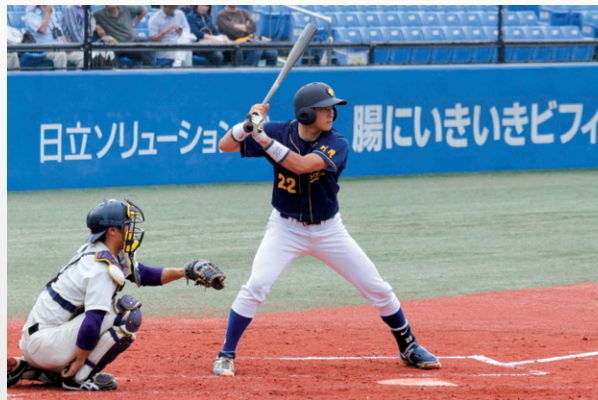
柔道部



柔道部女子チームが 全国大会で準優勝

柔道部女子チームが日本武道館で開催された「日本学生柔道優勝大会」の3人制に出場し、堂々の準優勝を果たしました。初戦の関東学園大学に続き、旭川大学、立教大学を破り、準決勝では昨年度の優勝校である鹿屋体育大学に勝利することができました。迎えた決勝では、東京学芸大学と対戦。勝負は大将戦までもつれ込む接戦でありましたが、惜しくも僅差で敗れてしまいました。しかしながら、最後の最後まで決してあきらめない姿に会場からは、あたたかい拍手が送られました。主将の後藤美和さん(4年)が大会の優秀選手に選ばれました。

野球部



大会を通して、チーム最多安打の寺嶋選手(3年)

硬式野球部が 「全日本大学野球選手権大会」で ベスト16入りの健闘

「第62回全日本大学野球選手権大会」(全日本大学野球連盟、読売新聞社主催)に本学硬式野球部が出場しました。初戦では、四国学院大学に4対0で勝利し、続く2回戦では、明治大学に1対4で惜敗。ベスト16の健闘をみせました。

工学部



工学部のチームSOBITSが 「ロボカップ@ホームシミュレーションチャレンジ」で優勝

5月4日～6日に玉川大学・玉川学園キャンパスでロボカップジャパンオープン2013東京が行われ、「@ホームシミュレーションチャレンジ」において、創価大学工学部情報システム工学科のチームSOBITSが見事優勝しました。

2013年度前期 特待生

2013
Performance-Based Scholarships

この度、学生部委員会・学部教授会にて審議決定された2013年度前期特待生が発表されました。特待生とは、セメスター(前期／後期)ごとに学業成績が優秀である学生を表彰する制度で、対象者には奨励金15万円が給付されます。

サンボンギ ナツミ
法学部4年 福島県出身 **三本木 奈津美** さん

創価大学での4年間、私が勉学に励み抜くことが出来たのは、度重なる創立者の温かい激励と、福島から支えてくれた家族、共に学んだ友人、指導してくださった先生方の存在があったからです。そのため、進路について悩んだ時も、「何のため」を忘れずに、やるべきことを一つずつ積み重ねていくことが出来ました。言葉では表すことのできない、この感謝の思いと、創価大学で培ったものを胸に、地元である福島の復興と、創価大学の発展に貢献できるよう尽力して参ります。



経済学部 経済学科 4年
ウチノ エリ
内野 絵利

経済学部 経済学科 3年
キド マサアキ
城戸 正明

経済学部 経済学科 2年
ツルハシ コウジ
嶋村 梨穂

経営学部 経営学科 4年
コンノ ミツハル
今野 光治

経営学部 経営学科 3年
タナベ ミホ
田中 美帆

経営学部 経営学科 2年
ナナツミ トモキ
七海 智貴

法学部 法律学科 4年
サイノウ ヒロシ
斉藤 博

法学部 法律学科 4年
サンボンギ ナツミ
三本木 奈津美

法学部 法律学科 3年
イトウ リョウスケ
伊藤 良輔

法学部 法律学科 2年
カウハタ アキエ
川畑 暁絵

教育学部 教育学科 4年
ホンダ ユカ
本多 由佳

教育学部 児童教育学科 4年
ヒロセ ミサコ
廣瀬 美佐子

教育学部 児童教育学科 2年
イシハラ コウスケ
飯島 光一

工学部 情報システム工学科 2年
ホンマ ミツノブ
本間 光宣

工学部 生命情報工学科 2年
オオタ ハヤト
太田 隼人

工学部 環境共生工学科 3年
スギハラ ヒカル
杉原 輝

文学部 人間学科社会学専修 4年
ハセガワ サチヨ
長谷川 幸代

文学部 人間学科人文学専修 3年
アツシ
蚊野 千尋

文学部 人間学科人文学専修 3年
ニシムラ ミサト
西村 美里

文学部 人間学科 2年
ナカニシ ナツミ
中西 なつみ

経済学部 経済学科 4年
テラオカ ミサキ
寺岡 美咲

経済学部 経済学科 3年
オガワ マサキ
小川 正樹

経済学部 経済学科 2年
ツルハシ コウジ
津田 良恵

経営学部 経営学科 4年
ニシオ ヨシエ
西尾 良枝

経営学部 経営学科 3年
キヨダミ ヒロコ
清住 弘人

経営学部 経営学科 2年
カマヤ ヒデオ
金屋 秀雄

法学部 法律学科 4年
タニムラ コウイチ
西野 貴紀

法学部 法律学科 3年
ハラ コウイチ
黒川 真希

法学部 法律学科 3年
イトウ リョウスケ
伊藤 良輔

法学部 法律学科 2年
ソエダ アキエ
添田 幸恵

教育学部 教育学科 3年
ハツノ ワタル
初野 涉

教育学部 児童教育学科 4年
ウエキミ ヒロユキ
上山 寛子

工学部 情報システム工学科 4年
ハシハラ コウスケ
長谷 亮

工学部 生命情報工学科 4年
シノダ タケシ
廣谷 武史

工学部 生命情報工学科 2年
タイラ マサス
平良 正和

工学部 環境共生工学科 2年
トミヤツ アキラ
富松 雄太

文学部 人間学科ロシア語・ロシア社会文化専修 4年
ヒラタ ケイコ
平本 慶吾

文学部 人間学科総合人間学専修 3年
アツシ
熱田 幸雄

文学部 人間学科総合人間学専修 3年
ナナム ケント
南部 健人

文学部 人間学科 2年
ハラ ユリカ
原 祐里佳

経済学部 経済学科 4年
ミキ ユリエ
三木 友里恵

経済学部 経済学科 3年
イワキ ユキ
岩城 貴子

経済学部 経済学科 2年
ツルハシ コウジ
井上 光司

経営学部 経営学科 4年
オクヤマ マイ
奥山 舞

経営学部 経営学科 3年
ホシヅカ タケシ
萩原 大希

経営学部 経営学科 2年
カネムラ タモラ
知念 珠良

法学部 法律学科 4年
タニムラ コウイチ
谷村 孝一

法学部 法律学科 3年
ハラ コウイチ
原 光一

法学部 法律学科 3年
イトウ リョウスケ
伊藤 良輔

法学部 法律学科 2年
オガワ ナヨカ
小川 清高

教育学部 教育学科 3年
タカザワ サチヨ
高澤 幸代

教育学部 児童教育学科 3年
タケミ ケンタ
武富 健太

工学部 情報システム工学科 4年
ハシハラ コウスケ
長谷 亮

工学部 生命情報工学科 4年
シノダ タケシ
廣谷 武史

工学部 生命情報工学科 2年
タイラ マサス
平良 正和

工学部 環境共生工学科 4年
イケガヤ ヒロキ
池谷 大樹

文学部 人間学科ロシア語・ロシア社会文化専修 4年
タマエ アキラ
四方 百合子

文学部 人間学科英語・英米文学専修 4年
カガワ マサキ
森 麻美

文学部 人間学科社会学専修 3年
コナシ
小山 保奈美

文学部 人間学科 2年
ヤマウチ アキラ
片山 千景

文学部 人間学科 2年
ミヨシ マコ
三吉 真子

経済学部 経済学科 4年
アン ヒロウヒコ
安 暁赫

経済学部 経済学科 3年
シゲタ ユキ
重富 由貴

経済学部 経済学科 2年
ツルハシ コウジ
野添 直人

経営学部 経営学科 4年
オクヤマ マイ
奥山 舞

経営学部 経営学科 3年
ハラダ ユウタ
原田 雄太

経営学部 経営学科 2年
クロサキ アイ
黒崎 あい

法学部 法律学科 4年
タカワ ミサコ
田川 美紗子

法学部 法律学科 3年
イシハラ コウスケ
池之上 清美

法学部 法律学科 2年
ワケ ノブアキ
和知 伸明

法学部 法律学科 2年
ヤマグチ タカハ
山口 貴法

教育学部 教育学科 2年
フルサワ タカコ
古澤 貴子

教育学部 児童教育学科 3年
タキノ ヒロユキ
瀧野 宏行

工学部 情報システム工学科 3年
ミヤコウチ コウジ
宮原 広翼

工学部 生命情報工学科 3年
トウナガ ケイコ
徳永 敏子

工学部 環境共生工学科 4年
ワタナベ シンイチ
渡辺 伸一

文学部 人間学科ロシア語・ロシア社会文化専修 4年
タマエ アキラ
玉井 哲

文学部 人間学科人文学専修 4年
カガワ マサキ
加川 麻紀子

文学部 人間学科社会学専修 3年
コナシ
川上 友子

文学部 人間学科 2年
ヤマウチ アキラ
山内 明美

文学部 人間学科社会学専修 2年
フカイ カオリ
若井 香織

文学部 人間学科 2年
ミミヤマ トモコ
初山 智子

経済学部 経済学科 3年
マツイ ユキエ
松井 幸江

経済学部 経済学科 2年
サエグサ ユウキ
三枝 悠希

経営学部 経営学科 4年
タカハシ コウジ
高橋 典子

経営学部 経営学科 4年
キタジマ メグミ
北嶋 めぐみ

経営学部 経営学科 3年
クワカ タカシ
日下 堯

経営学部 経営学科 2年
トウヤマ セイチ
當山 清一

法学部 法律学科 4年
タカワ ミサコ
小林 夢美

法学部 法律学科 3年
イシハラ コウスケ
藤林 英雄

法学部 法律学科 2年
シバザキ ミツアキ
柴崎 光明

教育学部 教育学科 4年
モリナガ コウジ
森永 浩二

教育学部 教育学科 2年
ヒラサワ ヒサミ
平岡 秀美

教育学部 児童教育学科 2年
ヤマモト カズミ
山本 和美

工学部 情報システム工学科 3年
ミヤコウチ コウジ
宮原 広翼

工学部 生命情報工学科 3年
ミキ マサキ
三木 正史

工学部 環境共生工学科 3年
マツイ ミホコ
松井 美保子

文学部 人間学科英語・英米文学専修 4年
ミヤエ ヒロエ
三池 洋江

文学部 人間学科社会学専修 4年
タナカ ミナミ
田中 みな美

文学部 人間学科ロシア語・ロシア社会文化専修 3年
ウエシタ ユキエ
上西 幸江

文学部 人間学科 2年
ナカシマ アキラ
中島 あかり

文学部 人間学科 2年
ミミヤマ トモコ
初山 智子

「私」の学生時代 — My Memory —



ほりきり ひであき 財務プロフェッショナル 堀切 英明

1984年創価大文学部卒、ニューヨーク州立大大学院経営学修士(MBA)、米国公認会計士

日興証券、ブライスウォーターハウス会計事務所、デロイト・トウシュ・トーマツ会計事務所、外資系広告会社BBDOの常務取締役CFO(最高財務責任者)を経て、現在、米国映画会社の日本支社で財務担当ディレクターを務める

— 創価大学での思い出は？

様々な理由で大学進学を諦めていた私にとって、創価大学は私の人生を大きく転換してくれた大恩人であり、学問の目を開き、世界へ視野を広げ、未来への希望の光と勇気を与えてくれた偉大な教育機関です。このような学舎を創られた創立者に心から感謝しています。また、当時、英語圏唯一の交流大学だったアリゾナ大学に派遣留学生として送って頂きました。家族で初めて飛行機に乗り、海外に行くことができたのも創大のお陰です。

— アリゾナ大学留学から得たものは？

外国で生きていく練習の1年でした。この留学が転機になり、大学卒業後、大学院進学と仕事で20年アメリカに在住しました。派遣留学がなかったら、その後の私の人生も、キャリアもなかったといえます。

— 卒業後の米国での20年間はどのようなものでしたか？

アメリカは食物が安く、広大な国土に住宅も広い。当時の日本の生活を考えると私にとっては楽園で、ここで生きていこうと思いました。ただ、生存競争の激しいアメリカで、外国人で文学部出身の私が雇ってもらうには、何か技術が必要だと思い経営学の大学院に進学しました。学費も勉強も大変苦労しましたが、給費奨学金を受けて卒業でき、最初は証券会社で株式ディーラーの仕事をしました。それからバブルがはじけたのですが、米国に居続ける為、専門の技術職を求めて公認会計士になり、ニューヨークの会計事務所に勤務しウォール街の証券会社や投資会社の監査や企業買収の仕事をしました。その後、外資系広告会社で財務担当役員(CFO)として雇われることになり、帰国しました。米国での20年は一言でいうと、生存闘争の日々でしたが、創価の同窓

生と連携をとり創立者から激励を受けることができ、楽しく充実した日々でした。

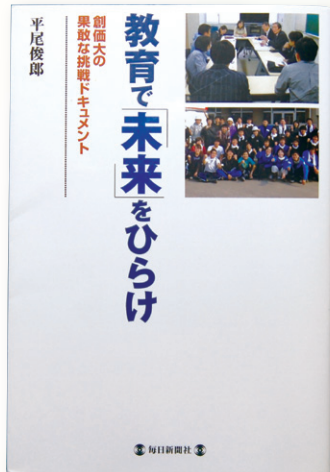
— 職業やキャリアに関してアドバイスがありますか？

創大時代は世間知らずで職業に関して全くヴィジョンがなく、世界雄飛をナイーブに夢見て英語だけ勉強していました。商売や事業経営にも興味はなかったのですが、米国で生活する手段として身につけた技術や経験が、求めずしてキャリアを発展させる結果になりました。長期不況の日本に帰国しても、9年間広告会社で財務担当の重役を務めることができ、その後も米国の映画会社の日本支社で財務担当のディレクターとして採用されました。先行き不安定な世の中で、今後の職業人生でも、ときに失業するようなこともあるかもしれませんが、朗らかに逞しく生き延びていく決意です。

— 世界を舞台に活躍するには、何が最も大切でしょうか？

自身の困難を乗り越える生命力をもち、友人を沢山つくり、日々楽しく生きることが日本でも外国でも一番大切だと思います。方法論として海外で生きていく為には、1) 当地の文化を愛し、母国語以上に現地の言葉ができるようになることと、2) どこに行っても食べていけるような普遍的な技術と経験を身につけることが必要だと思います。今後も、創大の後輩の皆さんが、どんどん世界に躍り出て、日々、職場や生活において愉快に果敢に奮闘されることを楽しみにしています。

大変、有難うございました。



Education to Expand Future Vistas

教育で「未来」をひらけ

創価大の果敢な挑戦ドキュメント

このほど毎日新聞社から、『教育で「未来」をひらけ』が発刊されました。そして今回、本の著書である平尾俊郎さんにインタビューを行いました。

教育で「未来」をひらけ
創価大の果敢な挑戦ドキュメント
著者／平尾 俊郎 出版社／毎日新聞社

全国の書店等で
好評発売中!!

中 創価大学を取材するきっかけとなった出来事があれば教えてくださいませんか？

昨年、創価大学経済学部に関する本が出版されましたよね。その後ある方から「創価大学は経済学部も素晴らしいけど、教育学部も教員養成に力を入れていて、毎年200名以上の教員を輩出している」ということを聞きました。毎年200名以上の教員を、しかも10年以上連続して輩出している。その実績は本当にすごいことだと思いますね、それで取材を始めました。

中 本書の見どころ、ポイントは何ですか？

卒業生の約1割が教員として活躍する創価大学の実績と取り組みに着目して、現役の学生、教員養成に関わる教職員、また教育現場で頑張る卒業生たちの生の姿をドキュメントなカタチで紹介し、教育に強い、また教員養成の創価大ということを明らかにしているところではないでしょうか。

中 取材を通しての創価大学の教員・学生の印象はいかがでしたか？

取材をした教員の先生は、小学校・高校の教育現場を長い間経験してきている先生だったからなのでしょう、学生に近いという印象がありましたね。大学での授業を行っているところにも行かせてもらいましたが、どの先生も教育熱心。学生は、真っ直ぐで、真面目な人が非常に多いですね。皆さん芯が強いし、一生懸命。その一生懸命さが他の人になかった強さになって、様々な問題を解決していけるのだろーうと思いましたね。

中 創価大学を受験する人に一言

大学の設備、施設が素晴らしい、環境も整っている。教育環境、設備としては最高級だと思いますよね。そういう

中で勉強できる、それは大変に幸せなことだと思います。目的を持ち、大学に行って勉強したいという人は、創価大学でしっかり勉強する。社会で通用する力をつけたいという人も、創価大学だと思います。創価大学は大学の偏差値だけでは計れないものがあります。だから創価大学に入って脇目もふらず学び、学生生活を送ったら、4年間ですごい力をつけられます。素晴らしい成果が収められる大学だと思います。



著者紹介

ひらお としろう
平尾 俊郎

1952年横浜生まれ。明治大学文学部卒。企業広報誌の企画・編集業務を経て83年フリーライターとして独立。教育、ビジネス、介護など幅広いジャンルで取材・執筆を行う。著書に「教育の場」としての学習塾（毎日新聞社）、「二十年後一くらしの未来図」（新潮社）等がある。

Soka University, Soka Women's College Hold Joint Commencement Ceremony

第43回創価大学・ 第29回創価女子短期大学入学式を挙



キャンパス内が桜満開の4月2日、第43回創価大学、第29回創価女子短期大学入学式が池田記念講堂で挙行されました。創立者の池田大作先生がメッセージを贈るとともに、南米アルゼンチン共和国の池田大作国際平和研究センター一行が列席し、同センターのフランシスコ・デリッチ所長が祝辞を述べました。デリッチ所長は祝辞の中で、「新たな地球社会と文明を築くためには、価値創造の教育が必要であり、全ての言語の人々が一丸となって、平和と民主主義の重要性を訴えることが求められます。」と述べられ、創価教育への期待を寄せられました。また、馬場学長は、「国際色豊かなキャンパスで卓越した語学能力を身につけ、世界を舞台に活躍する人材に成長しよう」と告辞を述べました。



使用方法是P02をご参照ください。

Soka University New TV commercial is released

「ここからグローバル篇」のテレビCMが完成



創価大学では、留学の機会がたくさんあります。

創価大学のキャンパスはグローバルな教育環境にみちています。これまで世界46カ国・地域141大学と交流し、昨年度は約700名の学生が留学や研修で海外を体験しました。4年後には1000名(1学年の6割)を目指しています。また五大大陸からの留学生が約300名学び、授業や学食、学生寮で、学生たちは科目の課題や国際関係、文化・習慣の違い、将来の夢などを語り合い交流しています。今回のテレビCMでは、公募の学生たちが外国語で自らの体験や将来の夢をリアルに生き生きと語っています。CMは4パターン(4種類)です。

このCMは、創価大学が提供する次の番組の中で各1回放送されます。(本年9月までの予定)

テレビ朝日系列全国24局ネット	毎週金曜日 21:00~21:54	「こんなところに日本人」	日本海テレビ(鳥取・島根)	毎週日曜日 18:00~18:55	「真相報道バンキシャ！」
北日本放送(富山)	毎週火曜日 20:54~21:00	「KNBニュース・天気予報」	高知放送	毎週日曜日 18:00~18:55	「真相報道バンキシャ！」
山梨放送	毎週日曜日 18:00~18:55	「真相報道バンキシャ！」	宮崎放送	毎週土曜日 21:54~22:00	「あしたの天気」
福井テレビ	毎週木曜日 21:54~22:00	「天気予報」	RKB毎日放送	毎週水曜日 19:55~20:00	「ハロージャパン！」

Survey Conducted on Japan's First International Education Program

国内初の国際教育プログラムを志向しアンケート調査



教育学部の宮崎ゼミでは高校生と大学生が協同し企業がサポートする形で、社会問題を解決するための事業プランを考案し大会にてプレゼンするという「SAGE JAPAN」を立ち上げました。「SAGE(セージ)」とは「Students for the Advancement of Global Entrepreneurship」の略で、国際社会に求められる問題解決能力やチャレンジ精神などを持つ若者を育成することを目的としてアメリカで創立された国際的組織です。これは各国に広がり、現在21カ国で取り組まれています。日本にはまだその仕組みが整っておらず、構築しようというのが宮崎ゼミの取り組みです。その一環として同ゼミでは、若者の社会貢献に対する意識調査を行うため創価大生358名にアンケートを実施しました。その結果、「社会をよりよくしたいと思うか」の問いに対して、「そう思う、どちらかといえばそう思う」と答えた学生が99%にもわたり、学生が社会貢献に対し

て強い関心を持っていることが分かりました。一方で、「社会問題の解決に向けて実際に社会に出て行動に移しているか」の問いには、「はい」が20%、「いいえ」が74%と、関心は持っているが実際に行動に移している学生は少ないことが読み取れます。実際に行動に移せない理由としては「方法がわからない」、「きっかけがない」、「時間やお金がない」、「行動に移すほどのモチベーションがない」の順に多い結果。このことから、社会問題の解決に関わりたいが機会がなく、行動に移せていない学生が多いことがわかります。以上の結果を踏まえて、「SAGE」という教育プログラムが、このような若者に社会貢献の機会を与え、課題発見能力や問題解決能力の育成が期待できそうです。同ゼミではSAGE JAPAN参加高校、協力企業を募集中です。

Ambassador of India to Japan gives lecture

インドのディーバ・ゴパラン・ワドワ駐日大使が講演



6月28日(金)に、本学本部棟で、ディーバ・ゴパラン・ワドワ駐日インド大使による講演会が開催され、文学部の学生ら約150名が参加しました。ワドワ大使は、「日本ーインド パートナシップ」をテーマに講演。経済や外交、宗教、文化交流など両国の歴史に触れつつ、「今日はインドとの縁も深い創価大学を訪問することができ、心から嬉しく思っています。私たちの学生時代には、日本とインドの交流はごくわずかに限られたものでしたが、今や1か月に10社ものペースで日系企業がインドに進出しています。アジアの平和や繁栄のためにも、相互依存関係にある両国の友好を一段と深めていきたい」と、今後の両国の交流への期待を述べました。

Ito Juku Prep School Founder Gives Special Lecture

伊藤塾塾長の伊藤真氏が特別講演



4月17日(水)に、伊藤塾塾長の伊藤真氏(弁護士)が来学し、本学大教室棟にて「伊藤真が語る 夢をかなえる勉強とは～法律を活かして自分の未来を切り開こう～」をテーマに特別講演を行いました。法学部が主催したこの講演には、約400名の学生が集い、真剣に話に耳を傾けました。講演のなかで、「自身の夢をつかんで欲しい」「一人を大事にする平和主義の憲法を活かしてほしい」「創価のロースクールを目指して法律家になろう。そうして人の幸せ作りに貢献しよう」と、冒頭から、創大生に対して限らない期待をかけられました。そして、自身を取り組まれる「一人一票実現運動」に触れられ、他人の事を自分の事として考え動く大切さや、どんな仕事でも誰かがやらなければならない仕事があるということ、法律家は、筋を通すために正義のために発言し行動すること、そのために法律を学ぶのだとし、「自分のなかの大切なものを見つめてほしい。その大切なものを実現するために法律があると考えてほしい」と強く訴えられました。また、「続ける力、それが夢をかなえる力」「何にでも正しい方法がある。一步先を考えよう」「ゴールからの発想～目標達成後に何をしたいのか、それを具体的に考えよう」「法律を学ぶとは答えがわからない問題に対して自分の頭で考えて決断できるようになること。その結論を事実と論理と言葉で説得できるようにしよう」など、具体的な勉強法をアドバイスされるとともに、「夢を実現するためには、自分で限界をつくらない、他人と比べない、試練がきても、それを受け入れて乗り越えよう」などとメンタルな面での具体的なアドバイスもされました。最後に、「創価大学で学べることは幸せ。感謝の気持ち、利他の気持ちが大事。勉強してください。世界を知ってください。いろんな経験をしてください。感性に磨きをかけてください」と、重ねて創大生に大きな期待を寄せられました。

動すること、そのために法律を学ぶのだとし、「自分のなかの大切なものを見つめてほしい。その大切なものを実現するために法律があると考えてほしい」と強く訴えられました。また、「続ける力、それが夢をかなえる力」「何にでも正しい方法がある。一步先を考えよう」「ゴールからの発想～目標達成後に何をしたいのか、それを具体的に考えよう」「法律を学ぶとは答えがわからない問題に対して自分の頭で考えて決断できるようになること。その結論を事実と論理と言葉で説得できるようにしよう」など、具体的な勉強法をアドバイスされるとともに、「夢を実現するためには、自分で限界をつくらない、他人と比べない、試練がきても、それを受け入れて乗り越えよう」などとメンタルな面での具体的なアドバイスもされました。最後に、「創価大学で学べることは幸せ。感謝の気持ち、利他の気持ちが大事。勉強してください。世界を知ってください。いろんな経験をしてください。感性に磨きをかけてください」と、重ねて創大生に大きな期待を寄せられました。

Fiscal 2012 Soka University Operations and Balance Sheet

2012年度 創価大学の事業および決算報告

2012年度は、創立50周年を目指す「創価大学グランドデザイン」の第1ステージの最終年度に当たり、第2ステージを展望する年でありました。看護学部設置準備をはじめ、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」の採択や、キャンパス整備事業等の改革を進めました。決算につきましては、消費収入は157.9億円、同支出は159.9億円となり、ほぼ消費収支の均衡を維持しております。教育研究経費と管理経費では前年度比1.4億円減少することができました。今後も更に経費削減の努力と収入の確保に取り組み、更なる財務の改善を目指してまいります。詳しくはホームページに今回の事業報告及び決算各種資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.soka.ac.jp/about/finance/>

“Sports Challenge Festival” Held in April

4月28日(日)に大晴天のもと、スポーツチャレンジフェスティバルが開催されました。



スポーツチャレンジフェスティバルは、全1年生が対象の運動会で、学部ごとにチームを作り、綱引きや大縄跳びなどを競技しました。創価大学に入学した新入生が交流の場を持ち、仲を深めることを目的に毎年開催され、今回で19回目を迎えました。この行事を運営した中心者の太刀川実行委員長が語ってくれました!『今年も多くの新入生がスポーツチャレンジフェスティバルを通して、学部の垣根を越えた友情を築くことができました。この横の連帯を世界へと広げて行くべく、一人一人が自分の舞台上、桜が舞うが如く大いに活躍して参ります!』

Graduate School of Law Dean Speaks at Global Forum on Chinese Studies

尹法務研究科長が第5回世界中国学フォーラムで報告



3月23日、24日の両日、中国の上海で第5回世界中国学フォーラムが開催され、「民主と法治」を扱った第2分科会で本学法科大学院(法務研究科)の尹龍澤研究科長が、「東アジアにおける法治主義と行政不服審査制度」と題する報告を行いました。このフォーラムは、国務院新聞弁公室、上海市政府の主催で、2004年から始まり、2年に1回、上海で開催されています。今回は、「中国の現代化: その道程と展望」とのテーマで世界20カ国以上から招聘した著名な研究者と中国国内の専門家240人が参加して、様々な分野における中国の未来と国際的な協力の方途について活発な報告と討論が行われました。開幕式

では、本学創立者の池田先生とも親交の深い饒宗頤・香港中文大学名誉教授に「海外華人中国学貢献賞」が、また、米ハーバード大学フェアバンク中国研究センターのエズラ・ヴォーゲル元所長とロシア科学アカデミー会員のチフビンスキー元駐中国ロシア大使に第2回「世界中国学貢献賞」が授与されました。

夏季大学講座一覽

8/30(金)～9/1(日)に開催決定！
緑豊かなキャンパスで1日創大生になろう！

今年で40回を迎える夏季大学講座は8/30(金)～9/1(日)の3日間で49講座を開講します。本講座は、創立者池田先生のご提案で「市民に開かれた大学」を目指し、開学3年目の1973年から開始されました。中央教育棟グローバル・スクエアが完成し、新たな息吹あふれるキャンパスで、創大生生活を満喫してみませんか？



当日の内容

開講日	2013年 8月30日(金)・31日(土)／9月1日(日)
会場	創価大学 東京都八王子市丹木町1-236
聴講資格	自由 ※親子で学ぶ一日絵画教室は親1人、子1人(小学校高学年)の1組になります。
聴講料	1講座 2,500円(税込み) ※1日に聴講できるのは1講座です。 ※お申込み後の変更並びに返金はできません。 ※「創友会・会友会カード」(クレジット併用)をお持ちの方は、当日、割引額(500円)を返金します。 ※親子で学ぶ一日絵画教室は1組2,500円となります。

当日の時間帯

1講座、午前・午後合わせて3時間になります。	
午前の講義	10:00～11:30
昼食・休憩	11:30～13:30
午後の講義	13:30～15:00

ピストンバスの案内

【ピストンバス往路】
JR八王子駅北口14番乗り場より大学構内直行便を、7:30～9:30まで運行します。

【ピストンバス復路】
大学構内2か所よりJR八王子駅直行便を、15:00～16:00まで運行します。
※16:00以降は通常の路線バスをご利用ください。

お申込み方法

申込期間:2013年6月20日(木)午前10時～8月29日(木)午後11時迄
コンビニエンスストア「ローソン」各店のチケット発券機Loppi(ロッピー)にて購入できます。

- 1 ローソン店頭「Loppi」の画面で「各種サービスメニュー」をタッチしてください。
- 2 「Lコードで検索して購入」をタッチしてください。
- 3 「チケットの直接購入」をタッチしてください。
- 4 「Lコードで探す」をタッチして、直接Lコードを入力してください。
- 5 Loppi本体から「レジ発券申込券」が発券されます。
- 6 「レジ発券申込券」を持って、30分以内にレジで精算してください。

【お近くのローソンの探し方】

インターネットで検索 ▶▶▶ <http://store.lawson.co.jp>

【ロッピー(発券機)の使い方】

ローソンチケット ▶▶▶ 0120-36-3963

Pick Up 講座

生活習慣の改善で
がんを防ぐ

看護学部 学部長・教授
中泉 明彦

一生のうちに、男性の2人に1人が、女性の3人に1人が、「がん」になる時代です。このように身近な「がん」の予防法はあるのでしょうか？疑問点を挙げながら、ともに学びましょう！



『笑いとお話』

教職大学院 研究科長・教授
長崎 伸仁

対話をテーマにした7回目の講座となる今回は、「笑い」を取り上げ、「笑いとお話」の関係を皆様と共に考えてみたいと思います。ゲストに、漫才で「お笑い学生日本一」に輝いた教え子二人にも登場してもらい実際に漫才をやってもらいます。お楽しみに！

開講日	No.	Lコード	担当教員	学部	役職	講義テーマ	会場
8/30(金)	1	32631	北 政巳	経済学部	研究科長・教授	英国グラスゴウ大学と近代日本の形成	A405
	2	32632	マリコ・J・ホンマ	経済学部	教授	世界で活躍する人材育成—グローバル基準の授業を—	A130
	3	32633	朝賀 広伸	法学部	教授	思いやりの共生社会をめざして—環境問題を考える—	A327
	4	32634	田中 亮平	文学部	副学長補・教授	対談「人間ゲーテを語る」に学ぶ② —シラーとゲーテ—	A230
	5	32635	菅野 博史	文学部	教授	『法華経』を読む(8)—如来寿命品・分別功德品—	白鳥体育館
	6	32636	杉山 由紀男	文学部	教授	創立者の「師弟」の哲学と現代社会—社会学の視点から—	A329
	7	32637	坂井 孝一	文学部	教授	日本古代・中世の王権と文化について考える	A229
	8	32639	山中 馨	経営学部	教授	女性起業家の行動と人間主義思想	A406
	9	32640	清水 由朗	教育学部	教授	親子で学ぶ一日絵画教室※	A204
	10	32641	渡辺 一弘	工学部	副学長補・学部長・教授	イノベーション:福沢諭吉からスティーブジョブズ	A129
	11	32642	山本 修一	工学部	研究科長・教授	気候変動と人間	S202
	12	32643	五十嵐 愛子	看護学部	教授	依存症の発症メカニズムとその対処法!!	M201
	13	32644	奥山 みき子	看護学部	准教授	健康長寿を目指して、豊かな老いを生きるために	S201
	14	32645	尹 秀一	ワールドランゲージセンター	教授	(続)一日楽しく韓国語会話	M402
	15	32646	ダニエル・ササキ	ワールドランゲージセンター	講師	英会話初級—外国人になりすましてコミュニケーション—	M203
8/31(土)	16	32726	神立 孝一	経済学部	副学長補・学部長・教授	「創価教育」研究の課題と展望	S201
	17	32727	杉本 一郎	経済学部	准教授	複合社会マレーシアの新たな挑戦—総選挙を終えて—	A327
	18	32728	山田 隆司	法学部	准教授	わかりやすい「新聞教室」 読み方が一日で変わる	A229
	19	32729	高橋 強	文学部	教授	1968年「日中国交正常化提言」とその今日的意義	M402
	20	32730	玉井 秀樹	文学部	教授	人間の安全保障の追求—創立者の平和提言に学ぶ—	A129
	21	32731	江口 満	文学部	准教授	真の地球市民とは—創立者池田先生の日露交流を例に—	A130
	22	32732	井上 大介	文学部	准教授	文化の正統性と権力および格差社会について—呪術からモーツァルトまで—	A406
	23	32733	高野 久美子	教育学部	教授	「困った」子?「困ってる」子?—発達障害を考える—	M201
	24	32734	清水 由朗	教育学部	教授	親子で学ぶ一日絵画教室※	A204
	25	32735	董 芳勝 足立 広美	教育学部 教育学部	准教授 准教授	歌の力と幸せな人生	池田記念講堂
	26	32736	木暮 信一	工学部	教授	ミトコンドリアから創発的健康人生を考える	白鳥体育館
	27	32737	清水 昭夫	工学部	教授	高圧力の食品・医療・環境問題への有効利用	A329
	28	32738	中泉 明彦	看護学部	学部長・教授	生活習慣の改善でがんを防ぐ	S202
	29	32739	藤田 美江	看護学部	准教授	在宅ケアの現状と課題—最後まで家で過ごすために—	A230
	30	32740	柴田 博文	通信教育部	准教授	日常生活に役立てる為の心の健康講座	M401
	31	32741	ダニエル・ササキ	ワールドランゲージセンター	講師	英会話初級—外国人になりすましてコミュニケーション—	M203
	32	32742	亀田 多江	短大	准教授	人を幸せにするICT(IT)の活用法	A405
9/1(日)	33	32743	寺西 宏友	経済学部	副学長・教授	創価教育の目指すもの—学習者中心の教育—	A327
	34	32744	高木 功	経済学部	教授	幸福の経済学—「よき生」と経済的豊かさの関係—	M205
	35	32745	中山 雅司	法学部	教授	戦争と平和の法—グローバル時代の国際法入門—	A406
	36	32746	黒木 松男	法科大学院	教授	高齢者を支える法的システムの現状と課題	A405
	37	32747	李 燕	文学部	教授	誰でも話せる楽しい中国語	M201
	38	32748	山岡 政紀	文学部	教授	人間学の扉—人間を探究するとはどういうことか—	M401
	39	32749	中村 みゆき	経営学部	教授	創立者に学ぶビジネス哲学—「ビジネスにおける正義」とは何か—	A229
	40	32750	鈞 治雄	教育学部	教授	人生を変える「楽観主義」の心理学	池田記念講堂
	41	32751	長崎 伸仁	教職大学院	研究科長・教授	『笑いとお話』	白鳥体育館
	42	32752	吉川 成司	教職大学院	教授	心のエクササイズ—子どもの問題とリフレーミング—	A129
	43	32913	西原 祥子	工学部	教授	糖鎖は生物の身体でどのように働くか?	M305
	44	32914	中嶋 一行	工学部	教授	生命の誕生・進化・絶滅	A130
	45	32915	五味 千帆	看護学部	准教授	健康のための食事・運動・睡眠について	M402
	46	32916	東森 由香	看護学部	准教授	認知症の人の理解と支援の考え方	A230
	47	32917	添田 百合子	看護学部	准教授	看護のスペシャリストが語る:生活習慣病予防と看護	S202
	48	32919	加納 直幸	通信教育部	准教授	安全神話の崩壊から大切なことが見える社会を考える	A329
	49	32920	鈴木 正敏	短大	副学長補・教授	健康へのアプローチ—食事と運動から考える—	S201

※「親子で学ぶ一日絵画教室」は親1人、子1人(小学校高学年)の1組で2,500円になります。

詳しいお問い合わせは下記まで

創価大学夏季大学講座係 192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
TEL:042-691-8228 FAX:042-691-9300 E-mail:kakidai@soka.ac.jp

2014年度入試 受験生のみなさまへ

全学統一入試が始まります！



2014年度入試(2013年度実施)より全学統一入試を導入します。この入試は、全学科同一日程で、各学科が指定する3科目で筆記試験を行い、その合計点で合否を決める試験です。学科が指定する試験科目によっては他学科との併願も可能となり、さらにセンター試験利用入試や一般入試などにも出願できるので、受験機会が広がります。



全学統一入試のメリット

- ① 1回の入試で複数学科を出願できる
- ② センター入試や一般入試も併願可能
- ③ 全国主要7都市で受験可能

- 出願期間：2013年12月20日(金)～2014年1月20日(月)
郵送 締切日消印有効
- 試験日：2014年2月3日(月)
- 合格発表日：2014年2月13日(木)
- 試験会場：東京(創価大学)、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡、那覇

2014年度入試より短大受験が 全国7会場で可能になります！



これまで本学のみでの受験となっていた、短大一般入試の受験が全国7会場で可能となります。また、一般入試の実施日が変更となります。

従来の実施日	変更後の実施日
2月5日	2月4日

筆記試験科目：国語、英語
※マークシート方式

- 出願期間：2014年1月4日(土)～1月23日(木) 郵送 締切日消印有効
- 試験日：2014年2月4日(火)
- 合格発表日：2014年2月14日(金)
- 試験会場：東京(創価女子短期大学)、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡、那覇



センター試験利用入試 「前期4科目方式」が始まります！



2014年度入試(2013年度実施)よりセンター試験の新たな利用方式を導入します。なお、従来の3科目方式のセンター試験利用入試(前期・後期)も実施します。



一般入試の「実施日程」が変わります！



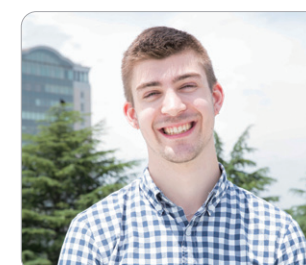
従来の日程	入試日程
2月13日・14日・15日	2月7日(金)・8日(土)・9日(日)
	合格発表 2月17日(月)



Campus Academic Visit ～大学の授業に参加してみよう～ のお知らせ

祝日の通常授業実施日を利用して、普段の学部授業に、創大生と一緒に参加できる新しいイベントを開催します！希望学部の授業参加、キャンパスツアー、教員との懇談会など、盛りだくさんの内容です。ぜひご参加ください。

開催日時
9月23日(月・祝)／11月4日(月・祝)
対象者
高校生
詳細や応募方法は創価大学HP内受験生ラウンジをご覧ください。



表紙の人紹介

ゲイブリエル アレクサンダー マディガン

【交換留学生】アメリカ/マサチューセッツ大学ボストン校 **Gabriel Alexander Madigan さん**

物理学を専攻し、将来の研究活動を考え学び始めたのが日本語。母国アメリカを筆頭に、物理学で有名な国が日本、ドイツ、フランスなど。今後はフランス語、ドイツ語にも挑戦したいと言う。世界中から集まった留学生、多くの日本人学生たちと大学・寮生活を共にしながら、日本語の上達のみならず、生涯の友情を育めたことが何よりの財産、と語る。

OPEN CAMPUS 2013

2013年度・創価大学・創価女子短期大学・オープンキャンパス

SCHEDULE スケジュール

※時間帯は全て10:00~16:00予定

2013 8/3(土)・4(日)・25(日) 2014 3/23(日)



5月は開設したばかりの看護学部が大人気でした♪8月のオープンキャンパスでは2014年4月開設の国際教養学部の教授陣による体験授業や個別相談等のブース拡充も予定しており、企画も充実しています。多彩なプログラム、自然あふれる広いキャンパス、輝く創大生が最大の魅力です。予約は不要です。オープンキャンパス限定の記念品もGETできます!受験生の皆さんのお越しを、心よりお待ちしております!

大好評! キャンパスツアー!!

オープンキャンパス以外にも、平日9時~17時、土曜日午前中の時間で、毎日創大生によるキャンパスツアーを行っています。時間帯や内容も相談に応じます! 昨年の夏休みは毎日のように予約が殺到していました。お電話やHP(受験生ラウンジ内)からも簡単に予約ができます。友人や、保護者の方との参加も大歓迎です!

予約はこちらから

<http://www.soka.ac.jp/admissions/lounge/campustour/>

2014年度 入学試験日程決まる!

創価大学			
	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2013/11/1(金)~8(金)	2013/11/23(土)	2013/12/4(水)
大学入試センター試験 利用入試(前期)	2013/12/20(金)~ 2014/1/17(金)	2014/1/18(土)、19(日) ※センター試験を受験	2014/2/10(月)
全学統一入試	2013/12/20(金)~ 2014/1/20(月)	2014/2/3(月)	2014/2/13(木)
一般入試	2013/12/20(金)~ 2014/1/20(月)	経済・法・教育学部 2014/2/7(金) 経営・文・国際教養学部 2014/2/8(土) 工・看護学部 2014/2/9(日)	2014/2/17(月)
大学入試センター試験 利用入試(後期)	2014/2/28(金)~ 2014/3/7(金)	2014/1/18(土)、19(日) ※センター試験を受験	2014/3/19(水)

創価女子短期大学			
	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2013/10/30(水)~ 2013/11/8(金)	2013/11/16(土)	2013/11/22(金)
一般入試	2014/1/4(土)~ 2014/1/23(木)	2014/2/4(火)	2014/2/14(金)

完成 創大キャンパスガイド2014 短大キャンパスガイド2014

創価大学・創価女子短期大学の入試要項(願書)や、キャンパスガイド2014がご請求いただけます。請求方法は以下の通りです。ご希望の方はぜひご利用ください。

☎ テレメール 以下に電話し、資料番号を登録して下さい。

IP電話番号 050-8601-0101 ※お問い合わせは050-8601-0102へおかけください。

資料番号
入試要項(願書) 160189(短大:174150)
過去の入試問題集(1年分) 157070(短大含む)
創大キャンパスガイド2014 151891(短大:154151)

●インターネット(PC・携帯電話 <http://telemail.jp>)からも請求できます。



資料請求用
QRコード

創大ホームページ 丹木の歳時記より



蓮を見るなら朝のうかがお勧め。こまめに水分を取り、熱中症にもご注意ください。

読者の声

SUN vol.77に掲載のダ・ヴィンチ賞を見て、教員採用試験に多数の合格者がいることを大変に嬉しく思います。私は1期生で昨年都立高校の校長を退職しました。後輩の皆さんが教育の場で大いに活躍されることを期待しています。嬉しい知らせに感謝いたします。(卒業生)

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆さんの声を募集しています。感想などがありましたら、下記までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしく願いたします。

※皆さまからいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただきます場合があります。

FAX 042-691-9300

E-mail sun@soka.ac.jp

SUN
Soka Univ. News

Soka University News 78号

●編集発行 / Soka University News 編集委員会 ●発行責任者 / 田代 康則 ●編集長 / 廣島 貴美子
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300
ホームページ / <http://www.soka.ac.jp> 2013年7月発行



揮発性有機化合物を低減できる大豆インクを使用しています。